

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぬくもりの森 北光			
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～	2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～	2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月20日			

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人に合わせた、スケジュール提示。	個々に必要な事に対して、絵や文字でスケジュールの提示を心掛けています。	スケジュールに興味を持てるようにする。
2	良いこと・良くない事を本人に対して○・×提示。	良い例と良くない例のお子様の写真を用意し、視覚的に伝えている。	お子様それぞれに課題がある為、○・×で視覚的に伝えるように心掛ける。
3	やりたい事には挑戦できるように、活動を提供。	日々のお子様の様子や好きなことを職員間で情報共有し、集団活動や野外活動の場で、余暇支援の一貫として取り組んでいる。	「やってみたい」「できた」などの感情を大切にします。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会を開催することができていない。	事業所内を案内したり、子どもの様子を実際に見れたりする機会を設けられていない。	ニーズが増えているので、実施できるように計画していきたい。
2	高学年が増えた為、活動スペースの見直しが必要。	高学年や静かな場所で過ごしたいお子様の活動スペースを確保できていない。	落ち着いて過ごせる場所をいくつか確保できるようなレイアウトを検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ぬくもりの森 北光					公表日	2025 年 4 月 1 日	
							利用児童数	18 名 (2025年3月18日時点)	
							回収数	16 件	
		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2			児童も成長してきているので、充分とは言えないかと思う。	高学年が増えた為、フリースペースは手狭になりつつある為、児童に合わせて活動スペースは検討します。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1	1	2	重度の子が多いので配置を増やして欲しい。	運営基準範囲ではあるが、活動によっては人員が必要な場合もあるので、改善していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16				トイレの場所も区別されており、1人1人の活動に取り組みが集中できるよう仕切りがしてある。	活動によって、場所の設定を行っている為、スケジュールによっては自主的に取り組んでくれます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					掃除は毎日、行っているが、行き届かない事がないよう改善していきます。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16				活動的な子どもには、外遊びなどあり特性に準じていると思います。	できる限り児童に合わせて、活動を提供しています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16				半年に1回など面談の機会もあり、ニーズを聞き出して、又計画書もわかりやすく作成されています。	支援内容についても、職員間で児童の情報を共有するよう、心掛けています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1	本人、家族支援は明確な目標、支援内容はありますが、移行支援の支援内容はわかりにくいです。	移行支援については、保護者の希望により、情報提供はしていたが、具体的に計画書に記載がない為、今後見直していきます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16				だいたい支援内容を元の色々として頂いています。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14			2	職員さんからの口頭で毎回「今日は～しました」と話すので、話が出ない時は不明です。	送迎に行くスタッフに、伝達するよう心がけます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	2	6			
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				都度、詳細な説明をしてくれます。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				面談の際は、必ず説明をしてくれます。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	7	2	2	日々の送迎でアドバイスをくれる。今後、開催されることを希望します。	情報を得て提供できるように検討します。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	16				送迎の際に、必ず学校からの伝言や健康についての話しをしてくれます。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				子どもに合わせて支援してくれています。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	7	3	5	保護者会、年に2～3回あるといいなと思います。	実施できるよう、検討します。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16				急な利用やショート相談などにかんしても相談のつてくれます。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16				プリントに写真など載っているので、それで確認できています。	月1で、おたよりを配布させて頂いています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			1	そのような場面が少ないですが、プライバシーは留意されていると思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			2	訓練はしていますが、マニュアルに関しては不明です。	掲示に留まらず、丁寧な周知・説明に努めています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16				避難訓練がまめにされていて、安心して預けられる。	年に2回、地震・火災と実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16				怪我や体調不良時などした際はすぐに連絡がきます。非常時は不明です。	緊急時も含め、早急の対応に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1			電話ですぐに連絡きたりするので、大切にしてくれるのわかるし、親もすぐに対応できるのでありがたい。冬場の送迎の際、滑ったなど子どもたちが不安になった事は、知らせたいです。	伝達事項の漏れがないよう努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16				職員の方の顔を見ると安心して行きます。とても安心して通っているので、親も安心できる場所です。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15			1	ニコニコしながら通っているので、楽しみにしていると思います。朝からいつも楽しみにしています。毎日楽しみに通っています。いつもありがとうございます。	子どもたちが楽しめる活動を提供し、「できた」という気持ちを大切に対応して行きます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				何から何までいつも親切で助かってます。ありがとうございます。本人も、家族も任せて満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぬくもりの森 北光		公表日		2025年4月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	活動によって場所は区切られている。	落ち着いて活動する場所、集団での活動場所など、もう少し明確に取り組んでいきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	児童の特性を把握した上で活動によっては、分散している。	児童の特性によっては、人員を増やすことを検討したい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4		バリアフリーはされていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	3	日々の活動を通して、個々の発育に合わせた課題の提供ができています。	静かに遊びたい子が、落ち着く場所がないので、検討が必要。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		高学年は、自ら落ち着く場所をみつけ、過ごす事ができる空間ではある。	落ち着く場所が、少ないので改善が必要。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		職員間で、児童の様子等は記録に残したり、都度話せる体制に心掛けている。	情報を元に、もう少し、活動の提供の幅が広がる様にします。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2		改善していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		都度話せる環境ではある。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3			
適切な支援の提	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修に行かせてもらえた為、他の機関の事などが良く分かった。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			HPで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		日々、児童の気になる部分に関しては、都度職員間で話し合い、支援方法を変更している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員間で日々の子どもの様子や保護者からの連絡などで、作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		都度、職員間で共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		標準化されているフォーマットはない為、作成する必要がある。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		面談時等で、必要な支援については保護者に伝える事はしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		日々、職員間で相談して行っている。		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1		固定されないように、工夫して支援します。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		児童の特性に合わせて活動している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	全員揃う事が少なく、出勤している職員間では外出する際は、話し合っている。	実施できるようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	帰りは、職員もそれぞれ帰宅してしまう為、振り返りは出来ていない。次の日に、送迎時、保護者とのやりとりなどの話を共有する。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1		記録を元に改善につなげている部分と活用できていない部分もある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に1度見直し、都度職員間で情報交換をしている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	2			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		日々過さず中で、自分の意志で活動に参加できるように設定している。スケジュールで提示することある。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		該当者がいたら、連携できる体制を整えます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		都度連絡が取れるように、電話・LINEなどで、確認は取れている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		保護者の要望で対応しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		月に1度外部から研修に来ていただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	他事業所と何度か活動共にした。	児童の特性により、難しい部分がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	出席が必要会議には参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		何かあれば、電話・LINE・送迎時に保護者と情報共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		要望があったら、検討します。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に必ず説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		児童には、選択することができる場合もある。保護者の方にも、活動によって相談している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		保護者に説明し、ご理解・ご協力頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談して頂けたり、相談させて頂く機会もある。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3		開催できるように、検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		都度保護者に説明している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		月に1度、おたよりを配布。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			充分とは言えない為、見直します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		保護者に説明し、ご理解・ご協力頂けています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		現在、招待行事等の予定はありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		周知する事がある場合、お便りや掲示で案内しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年に2回。避難訓練（火災・地震）1週間を通して、スモールステップで実施	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		保護者と確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		保護者と確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		職員間では不十分な所もある為、スタッフ間で、確認する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		周知できる用に心掛けます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的な研修の設定や虐待防止委員会の設定をしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		必要に応じて、支援計画書盛り込んでおり、保護者の方に説明しています。		